

# 小倉工業北辰会報

編集兼発行  
北九州市小倉北区  
白萩町6-1  
福岡県立小倉工業高校  
北辰会事務局  
TEL 093(571)1124  
FAX 093(583)4924

平成  
20年度

## 北辰会総会報告



当番幹事一同（昭和60年卒業生・平成9年卒業生）

平成二十年度北辰会総会は、五月二十五日（日曜）に小倉北区のウエルシテイ小倉（九州厚生年金会館）で開催されました。今年度の総会は、当番幹事として昭和六十年年度および平成九年度卒業生が担当しました。

近年当番幹事の人員確保が難しくなってきたことから、今年度から卒業年度順送りの当番幹事に、それぞれ一回り下の卒業年度の同窓生が参加する形をとることになったのです。

当番幹事には、初めての取り組みのなか、準備・運営にがんばってくれました。総会議事では、同窓会会員に関する部分の規約改正案が提案されました。その内容は「卒業時での北辰会入会」としていたものを、「入学時での北辰会入会」に変更するものです。

この目的は、最近納入が減少傾向にある年会費の確保を図るとともに、在校時から同窓会活動に関心をもち、それが卒業後もつながることを願ったこととです。この提案は討議の上、承認されました。この改正は、平成二十年度新入生から適用され、在校生会員は入学時に入会金三〇〇〇円を、そして毎月五〇〇円の会費を納入していただくことになりました。

なお卒業時まで納入された会費は、入学時より十年間分の会費に充当されます。また中途退学者については、入学時に遡って全額返還されることになっています。

任期満了にともなう役員改選では、長野正景会長らの再任を含む提案がありました。急逝した深堀武俊氏（昭和三十年電気科卒）の後を引き継いだ山下恭之役員選考委員長（昭和二十九年機械科卒）から提案理由の説明があり、来年（平成二十一年）は母校創立二〇周年記念を迎えることでもあり、また現在取り組んでいるいろいろな対策・事業を推進していただかなければならない、などの事情を考慮したことを述べました。

は総会の承認を得ました。

役員紹介（敬称略）  
会長 長野 正景（再任）  
副会長 江角智恵子（再任）  
森 一政（再任）  
小田 伯雄（新任）  
下田 豊一（再任）  
専光寺広泰（再任）  
監査 國廣 竹史（新任）  
岡田 豊美（再任）

平成21年度  
北辰会総会ご案内  
～日時～  
平成21年5月24日(日)  
15:00より  
～場所～  
ウエルシティー小倉  
(九州厚生年金会館)

## 体育後援会報告

野教頭から紹介されるたびに、出席者から激励の拍手や言葉を受けていた。宴の終わりは、賑やかに出席者全員参加の勝ち抜きジャンケンゲームを楽しんだ。

部活動関係者を  
激励する会

北辰会体育後援会主催の「部活動関係者を激励する会」が、平成二十年八月二十三日（土曜）ウエルシテイ小倉（九州厚生年金会館）にて開催された。

この催しでは今まで「体育関係者を激励する会」として行われてきたが、今年から文化部関係者も参加することになったため、会の名称が変更されている。

当日は、学校側から笹原校長、教職員、PTA、部活動支援者ら五十四名、同窓会側からは長野会長、役員、事務局、部活動OBら八十八名、合わせて一四二名の方が参加した。

森体育後援会長、長野会長、笹原校長、そして柴田父母会長の挨拶がそれぞれあった後、政徳参事兼事務長の乾杯で宴は始まった。

談笑で盛り上がるなか、部活動の指導に当たっている先生方が壇上に並び、平



卒業から五十年  
教育振興基金へのご協力に感謝します

九月二十日、昭和三十四年卒業の皆さんが卒業五十年を迎えるにあたり、全科で記念同期会を行いました。

総数六十七名が一堂に会し、各所で懐かしい顔を突き合わせ、昔話に花を咲かせていました。

また、皆さんの母校への思いを教育振興基金として、三十万円の浄財を寄付していただきました。

第十五回  
オープンゴルフ大会

十一月二十七日（木曜）第十五回オープンゴルフ大会が、京都郡みやこ町勝山の「チェリーゴルフクラブ小倉南」で開催されました。

では午後から雨となつていましたが、幸いにも大した雨も降らず、無事終了することができました。

来年の大会は、母校創立百十周年を迎えますので、さらに多くの方々に参加していただき、記念事業に花を添える大会にしたいと考えております。

友人、知人ともに声を掛け合い、多くの方々が参加されますようお願いいたします。

【優勝】  
男子 中村祝之さん（一般）  
女子 氏本昌子さん（一般）  
【ベストグロス】  
男子 中村祝之さん 74  
女子 氏本昌子さん 90

小倉北支部主催  
2008サマーフェスティバル開催

北辰会小倉北支部主催の「二〇〇八サマーフェスティバル」が平成二十年七月十七日（木曜）ウエルシテイ小倉（九州厚生年金会館）で開催された。

この催しの始めに、小屋敷憲治・北支部長が挨拶を行った。

出会いから五十年  
昭和十七年機械工作科卒業の皆さん三十七名が、入学の出会いから五十年となるに当たり、十一月六日、七日二泊二日のクラス会を開催し、思い出多い母校実習工場を見学しました。

母校への感謝と熱い思いを込めて、教育振興基金へ十一万円の浄財を寄付していただきました。

寂たけなわとなつたとき、恒例のビンゴゲームが行われ、景品のフルーツが当選者に渡された。お客さまも一緒に楽しんでました。余ってしまった景品のフルーツは、北辰館で合宿中の生徒たちに差し入れられた。

次は長野正景・北辰会長が挨拶し、今回の仁川機械工業高校との交流行事について、校長夫妻、教師、同門会関係者に引率されて生徒三十五名が来校したこと、歓迎式典を行ったこと、今夜は生徒たちの内、二十名は個別にホームステイし、残りの十五名は北辰館三階で合宿していることなどを述べた。

続いて、笹原裕明・本校校長が挨拶し、出席されている仁川機械工業高校の校長夫妻の紹介を行った。

仁川機械工業高校からは、チェ・ジョンホ校長が挨拶し、学校の内容の素晴らしさ、そしてこの場で皆さんにお会いし、あらためて歴史の重みを感じたとの感想などを語った。引き続きチャン・ギテク総同門会副会長の挨拶があった。

懇親会は、宮部順次・前参事の乾杯の発声で始まった。

宴の終わりに近くなつて、チェ・ジョンホ校長夫妻は、各テーブルを巡り、それぞれ挨拶をされていた。

懇親会は、平野孝幸・本校教頭が音頭をとって、万歳三唱し、閉会した。

# 学校だより

## ものづくり部

▼「第四回エコデザイン大会」  
本校から2台出場  
総合の部(高校・大学一般)  
一位入賞  
学生の部  
一位・三位入賞

▼「08エコデザイン大会」(大阪)  
本校から2台出場  
93台中上位、十三位  
(高校の部 七位、十位)



## 体育大会

「2008白萩五輪」と名付けられた倉工体育大会が、平成二十年十月四日(土曜)母校運動場で開催された。

競技は、機械一組(設備工業三年/機械)、機械二組(電子機械)、電機一組(電気)、電機二組(電子)、化学一組(工業化学)の五グループに分かれて行われた。

なお設備工業三年生の諸君は、来年三月、設備工業科最後の卒業生として、卒業式を迎えることになって行われた集団演技は、一

▼「第十六回全国高等学校ロボット競技大会」(大阪)  
二回戦で惜敗



## 小倉工業高校吹奏楽部 第3回定期演奏会

とき 平成21年1月24日(土曜)  
開場13:00 開演13:30  
ところ 北九州芸術劇場 大ホール  
(リバーウォーク北九州 6階)  
入場料 無料

年生全員による『倉工体操』、そして二、三年生全員による腰を低くして「エッサ、エッサ、エッサ」の掛け声を出しながら行う演技「エッサッサ」のいずれも、しっかりと統制がとれていて見事なものであった。

『集団行動』では、グループ別に四十人の選手が、それぞれリーダーの号令や号笛に従って、前へ、後ろへ、左へ、右へ、斜めへ、あるいは交叉したりなど、時にはコミカルな動作も加えながら、整然とした隊列行進を行い、日頃の修練の成果を披露した。

徒競走の種目では、女子選手に配慮して、スタートラインの位置を十六メートル

## 平成19年度 北辰会決算書 及び 平成20年度 予算案

費目	平成19年4月1日～平成20年3月31日		対比増減	摘要	平成20年度 予算額	摘要
	予算額	決算額				
収入	7,400,000	7,411,651	△11,651		8,200,000	
支出	7,400,000	7,168,877	△231,123		8,200,000	
差引				△500,000		

## 平成19年度 北辰会定期総会決算書(昭和59年度卒当番幹事)

費目	金額	摘要
収入	5,542,587	総会費2,230,000 @ 5,000円 × 446枚 広告料2,695,000 @ 5,000円 × 539口 雑収入617,587 祝儀150,000円 イベント収入235,000円 前年度準備金227,587円 その他5,000円 合計5,542,587
支出	5,542,587	総会費3,071,309 総会飲食費、会場関係費、会場費、アトラクション代、写真代、総会資料及び会員券等印刷代、送料等 当番幹事会議費573,670 当番幹事会議費及び反省会費 事務局運営費1,897,608 運営費439,960円 次年度準備金377,374円 同窓会寄付500,000円 会報送料532,245円 雑費他 合計5,542,587
差引	0	

## 平成19年度 教育振興基金決算書

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備考
収入	15,951,000	15,272,045	-678,955	
支出	15,951,000	15,272,045	-678,955	
差引				

収入額15,272,045円-支出額2,139,729円=13,132,316円(次年度へ繰越し)

**会費納入及び教育振興基金納入のお願い**  
同窓会「北辰会」が、健全な活動を維持していくためには、活動を支えている北会費は、今後とも会員各位へのサービスを向上させ、母校の発展のために努力を重ね、事務の効率化と経費節減に努めて行く所存です。  
北辰会の健全な活動の基本であり、また「年会費」の納入を宜しくお願い申し上げます。  
また、母校生徒の就学、部活動に対する支援の為に教育振興基金にご理解賜りご協力下さいますよう、併せてお願い申し上げます。

## 海外研修報告(教育振興基金事業)

教育振興基金の中で海外研修制度を設けていますが、発足した平成十五年に実施して以来、五年振りに在校生二名を派遣しました。

工業高校校長会主催による二〇〇八年オーストラリア海外研修(七月二十一日〜八月三日)に参加しました。ホームステイをしながら毎日、午前中は英語レッスンを

受け、午後は学校体験授業に参加するなど、濃い内容の研究であったと思われま



機械科二年 大森 喬介

オーストラリア海外研修

選抜された。設備工業三年生の諸君には楽しい思い出となったのではと推察する。プログラム最後の見せ場、閉会式終了後に打ち上げられる花火が、観衆の歓声の中、盛大に夜空を彩り、大会は閉幕した。

今回研修では、とても貴重な経験ができて、嬉しく思っています。特に印象に残っているのは文化の違いや生活習慣の違いです。中でもご飯を食べるときに「いただきます」という挨拶がなかったことです。だからホストファミリーには日本での挨拶を教えました。また、日本についての質問をたくさん受けました。

ホストファミリーの方はとても親切にしてくれました。高校生のうちから海外に行ける人は少ないのに、同

私には英語が大嫌いで、日本人だから日本語が話せたらいいなどと屁理屈をいいて、いつも英語から逃げていました。

今回の体験は、そんな私を大きく変えてくれました。異国に興味を持つようになった。英語と触れ合うことが好きになりました。きっとオーストラリアでの経験は、私の人生で大きなプラスになると思います。



電気科二年 杉山 洋美

窓会の方、お世話してくださった先生方に感謝しています。ありがとうございます。

## 平成19年度にご逝去された方々

ご逝去された方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。(平成19年5月16日より平成20年5月15日までご連絡があった方々)

旧職員 柳田 尊俊	昭17年機本	平坂久一郎
旧職員 安枝 晃	昭20年機1	黒田 光夫
旧職員 三池 一男	昭22年機3	池田 重則
昭3年機	昭23年機2	木下 貞雄
昭5年機	昭23年機2	門脇 孝夫
昭6年機	昭24年機	福田 幸信
昭8年機	昭25年機	安部 道昭
昭10年機	昭27年機	高木 史郎
昭10年機	昭28年機	白石義太郎
昭10年機	昭28年機	原田 健一
昭10年機	昭29年機	竹谷 敏行
昭10年機	昭30年機	田中 武徳
昭10年機	昭30年機	永岡 昭義
昭10年機	昭30年機	深堀 武俊
昭10年機	昭31年機	南 舜司
昭10年機	昭32年機	米田 正男
昭10年機	昭32年機	原田 和則
昭13年機	昭39年機	小泉 定美
昭14年機	昭42年機	竹内 泰史
昭16年機	昭44年機	
昭17年機本		